

今、何の病気が流行しているか！

【感染症発生動向調査事業から】



KAWASAKI CITY

平成23年10月31日（月）～11月6日（日）〔平成23年第44週〕の感染症発生状況

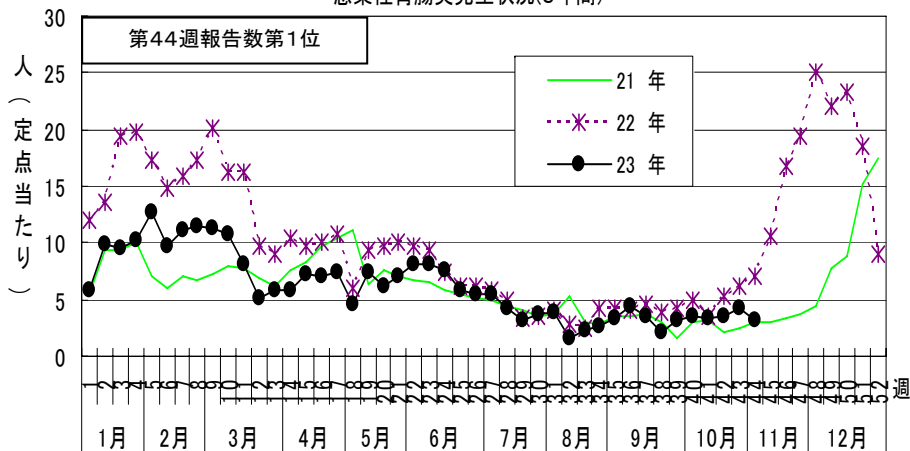
第44週で患者報告数の多かった疾病は、1)感染性胃腸炎 2)A群溶血性レンサ球菌咽頭炎 3)水痘・手足口病でした。

感染性胃腸炎は定点当たり3.09人と前週（4.27）より患者報告数は減少しており、例年に比べ低いレベルで推移していますが、これからの時期に患者報告数が増加することが推測されますので注意が必要です。

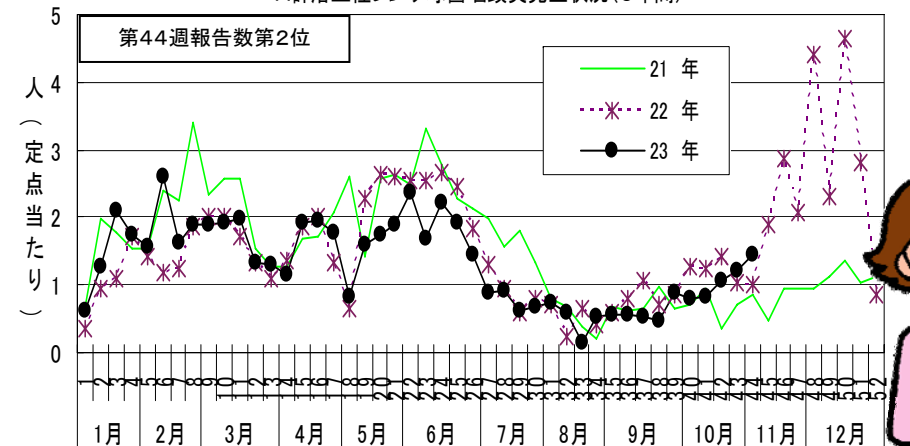
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎は定点当たり1.45人と前週（1.21）より患者報告数はやや増加していますが、ほぼ例年並みの推移となっています。

細菌性赤痢の発生届が1件（推定感染経路：経口感染、推定感染地域：フィリピン）ありました。

感染性胃腸炎発生状況(3年間)



A群溶血性レンサ球菌咽頭炎発生状況(3年間)



「ノロウイルス食中毒警戒情報」発令中！！

毎年、秋から冬にかけて、ノロウイルスなどを原因とする感染性胃腸炎患者の報告が増加します。また、それとほぼ同時にノロウイルスによる食中毒事例の報告も増加する傾向にあります。

今年も、神奈川県内において、感染性胃腸炎患者数が前週の値に比べ3週間連続して増加したことから、「ノロウイルス食中毒警戒情報」が発令されました。発令期間は、平成23年10月31日（月曜日）から平成24年3月31日（土曜日）までとなっています。

川崎市においても、ノロウイルスによる食中毒の発生を防止するため、飲食店や集団給食施設等に対し監視指導等を強化しているところですが、市民の皆様も次の点に注意してください。

みんなで徹底！！ノロウイルスの感染予防

- ① 二枚貝等の生食に注意し、加熱が必要な食品は中まで加熱（85℃で1分以上）して食べましょう。
- ② 患者の便やおう吐物、それに污染された手指、水、食品などを介して経口感染するので、手洗いを徹底しましょう。
- ③ 便や汚物を放置すると、含まれていたノロウイルスが乾燥し空气中に舞い上がり、それが口から入ることで感染することもあります。患者の便やおむつ、おう吐物は乾燥しないうちに速やかに片付けましょう。
- ④ 必要に応じて家庭用塩素系漂白剤（※次亜塩素酸ナトリウム）などで消毒してください。※漂白作用があるので使用の際にはご注意ください。

ノロウイルスってどんな症状？

吐き気、おう吐、下痢、腹痛で、熱はそれほど出ません。通常1～2日で症状はおさまります。感染しても、発症しない人や軽いかぜ症状で済む人もいます。

ただし、抵抗力が弱い高齢者や乳幼児などの場合、重症化したり、おう吐物をのどに詰まらせたり、下痢によって脱水症状がひどくなるなどの危険があり、油断は禁物です。

